MAINICHI
毎日新聞
夕刊
5月24日（水）
2023年（令和5年）
発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話（03）3212-0321
毎日新聞東京本社

地味にスゴい女性誌「婦人之友」120年

めくれば時代　生活の未来

日本で最も長い歴史を誇る女性誌で、今春創刊120年を迎えた「婦人之友」は不思議な雑誌だ。明治から令和まで五つの時代をまたぎ、女性の生き方や社会的地位は劇的に変化したのに、大きなモデルチェンジもなく何世代にもわたり読み継がれている。浮き沈みの激しい雑誌業界で、なぜそんなことが可能なのか。取材をしていくと、この一見地味な月刊誌の「すごみ」が見えてきた。

雑談から生み出す実感

5月15日にあった月曜定例の編集会議。座が盛り上がったのは、今後の誌面で特集する予定の「しみ抜き」の話題だった。

白ワインと赤ワインでは使う薬剤が違う。血はお湯より水の方が落ちる。泥汚れは洗ってもダメ…。編集部員が取材で仕入れたノウハウに、それぞれが感想や体験を口にする。「こういう雑談があって、生活実感のある雑誌ができます」と羽仁（はに）曜子編集長。コロナ禍前は、午後3時に仕事の手を休める「おやつの時間」もあったという。

「〇〇県の△△さん」といった長年の読者の名前も、会議で当たり前のように出てくる。老舗ならではの読者とのつながりの深さを感じさせる。

シンプルで心豊かな生活――。同誌が目指すのは、端的に言うとそうなる。婦人之友社を創設した羽仁もと子さん（1873～1957年）は「家庭は簡素に社会は豊富に」と表現した。生活社会史やメディア史の観点で「婦人之友」を研究する跡見学園女子大講師の小関孝子さんによると、同誌は「『生活の合理化』というキーワードを、社会環境の変化に合わせて柔軟に解釈してきたのが特徴」という。

家電がなかった明治時代、家事は主婦にとって重労働だった。皆で知恵を出し合って家事時間を短縮し、趣味や読書など自由に使える時間を捻出しようと、婦人之友は提案した。創刊翌年には、予算を組み、費目別に計算するという画期的な家計簿を考案し、主婦が家計管理の主体となれるよう促した。「もと子の目標は、家庭の中での女性の地位向上だった」と小関さんは解説する。

戦争の足音が近づくと生活合理化は「質素・倹約」の考えと結びつき、戦後は衣食住を立て直して新時代を迎える旗印となる。高度成長期には核家族化の進行を背景に、結婚して都会暮らしを始めた専業主婦たちに家事のノウハウを伝える教科書の役割を果たした。

そしてバブル崩壊や2度の大震災を経た現代は「モノを持ち過ぎない丁寧な暮らし」「SDGｓ」といった時代のニーズと呼応する。コロナ下の閉塞（へいそく）感が強い時期には「森ぐらしに教わる　小さな毎日を楽しむ知恵」などの特集が組まれ、最新の今年6月号では環境に配慮した「プラスチックフリー生活」の実践例を紹介している。

流行・政治と一線画し

一方で、流行のコスメやファッション、芸能人のゴシップなどは一切扱わない。判型も教科書サイズのA5判で、より大きいB5判やA4変型が主流の女性誌の中では、どうしても地味に見える。羽仁編集長は「大きい方が写真映えもするとの声は、社内でもあります。けれど祖母や母の代からバックナンバーを棚に並べているという読者もいて、なかなか変えづらいんです」と苦笑する。

社会に目を向けつつ、政治とは距離を置いているのも特徴だ。特定の政党への支持や政策課題への賛否を打ち出すことはしない。

この「イデオロギー的中庸性」（小関さん）があったからこそ、戦時中も生活誌として発刊を許され、かつ戦後、ライバル誌「主婦之友」のように戦争に加担したとして経営者が公職追放にもならずに済んだ。羽仁編集長は「社会の変革を声高に訴えるのではなく、読者と同じ目線で足元の生活改善を考えていくのが基本姿勢」と語る。

パワフル　愛読者会

婦人之友を語る上で欠かせないのが、1万5000人超の会員がいる「友の会」の存在だ。単なる愛読者の集まりとは言えないパワーを持つ。2021年度時点で国内172、海外8の独立した組織があり、活動拠点としてキッチンや家財道具を備えた「友の家」が全国に124カ所ある。派手な宣伝はしないが、近所の人同士が家に集まる「最寄（もより）会」から大規模な家計簿講習会まで、活動は驚くほど広範で濃密だ。大災害発生時には被災者支援の実働も担う。

「東京第一友の会」は東京都豊島区に3階建ての友の家（全国友の会と共用）を持ち、会員は衣食住・子どもなど八つのグループに任意参加して「研究」にいそしんでいる。4月22日にあったのが洗濯グループによる講習会で、テーマは「家でダウンジャケットを洗う」だった。実際に洗濯物を持ち寄ってもらい、使う洗剤、こするのに適した布、すすぎや脱水の時間まで、講師役のベテラン会員3人が丁寧に説明する。より効果的で経済的な手順を日々探求しているというだけあり、内容はどこまでも実践的だ。雑誌はこうした研究成果を発表する受け皿にもなる。

企画リーダーの染谷美枝子さん（75）によると、会員は高齢化が進みつつあるものの、仕事を持つ人の割合も増え、裾野は主婦以外にも広がっているという。ただ、その分、平日昼の活動が難しくなっているのが「少し残念」と話す。

様式が変わっても、社会が「生活」を基盤に成り立つ以上、婦人之友のようなメディアの需要は不変かもしれない。バックナンバーをめくれば、その時代に生きた人たちの姿が浮かぶ。創刊120年記念の4月号の巻末の「編集室日記」を、羽仁編集長はこう結んでいる。

「この号もいつか、ページをそっとめくる未来の読者に会えますように」　【清水健二、写真も】

㊤最近の「婦人之友」のバックナンバー。判型は創刊以来変わらないA5判だ㊦「東京第一友の会」の洗濯研究グループによる「ダウンジャケットの洗い方」の講習会。参加費1000円で持ち寄った品を洗って帰れる＝東京都豊島区で4月22日

婦人之友

1903（明治36）年、元新聞記者の羽仁もと子、吉一（よしかず）夫妻が前身の「家庭之友」を創刊。4年後に「婦人之友」に改名した。2010年に就任した羽仁曜子編集長は、吉一さんの弟の孫に当たる。公称部数は5万部。シニア層向けの姉妹誌「明日の友」も今年創刊50年を迎えた。

NEWS FLASH

➡13人死傷の戦闘、露「掃討作戦終了」

ウクライナと国境を接するロシア西部ベルゴロド州で武装した集団が住宅や工場など数カ所を攻撃した戦闘で、同州知事は23日、露軍による集団の掃討作戦が終了したと述べた。州知事は避難中の80代女性1人が死亡、23日までに12人が負傷したとしている。露メディアによると、同州では22日、少なくとも4カ所で銃撃などが発生。州知事はウクライナの「破壊工作グループ」が領土内に侵入したと主張した。露軍はヘリコプターなどを使った掃討作戦を開始。露国防省は23日、「70人以上のウクライナの国家主義者を殺害した」と発表した。

これに対し、ウクライナ側は、侵入した部隊はロシア国内の反プーチン政権勢力だとして関与を否定している。ポドリャク大統領府長官顧問はツイッターで、武装した集団は、ロシア人で構成する「地下のゲリラ集団」との見方を示した。

ロイター通信によると、22日の攻撃についてこれまでに「自由ロシア軍」、「ロシア義勇軍」を名乗る2グループが通信アプリなどを通じ、関与を主張している。両グループとも反プーチン政権を掲げるロシア人が含まれているというが、ウクライナとの関係は不明という。【ブリュッセル】

➡F16供与へ、ウクライナ人乗員訓練

ＥＵ（欧州連合）のボレル外務・安全保障政策上級代表（外相）は23日、ロシアの侵攻を受けるウクライナへの米国製Ｆ16戦闘機の供与に向け、ＥＵ加盟国のポーランドなどでウクライナ人パイロットの訓練が始まったことを明らかにした。ブリュッセルで開かれたＥＵ国防相会合前に記者団に語った。

ボレル氏は「Ｆ16のパイロットの訓練が、複数の国で始まったことを喜ばしく思う。時間はかかるが、早ければ早いほど良い」と述べ、国名を問う記者の質問に対し、ポーランドを挙げた。また、ボレル氏はＥＵ国防相会合後の会見で、ウクライナの要望を受け、ＥＵ加盟国が3月以降、計22万発の砲弾、計1300発のミサイルを供与したと発表した。

Ｆ16を巡っては、生産国の米国が供与に慎重な姿勢を見せていたが、ウクライナや欧州側の要望を受け、訓練や欧州からの供与については容認した。ボレル氏はＦ16の供与について「ウクライナが防衛を続けるには絶対に必要だ」と述べた。【ブリュッセル】

➡露、米記者拘束を3カ月延長

モスクワの裁判所は23日、ロシアで拘束されてスパイ罪で起訴された米紙ウォール　ストリート　ジャーナルのモスクワ特派員、エバン　ゲルシコビッチ記者の拘束期限について、3カ月の延長を決めた。タス通信が伝えた。5月29日までだった期限が8月30日まで延長される。

米国務省のミラー報道官は23日の記者会見で「根拠がなく不当な拘束だ。即時釈放を求める」と強調。ロシア当局に対し、在ロシア米大使館による領事面会を認めるよう要請した。

米国籍のゲルシコビッチ氏は3月30日にロシア中部エカテリンブルクで取材中にロシア連邦保安庁（ＦＳＢ）に拘束された。タス通信によると、ＦＳＢはゲルシコビッチ氏が米国の要請を受けて、ロシアの防衛企業に関する国家機密を収集したと主張。ゲルシコビッチ氏は全面的に否定している。【ワシントン】

次世代へつなぐ、美術プロジェクト
アートの森 GROWING ART
ウェブサイトはこちら
https://growing-art.mainichi.co.jp

近事片々

2023.5.24

またか。マイナカードで口座の誤登録。河野大臣の好きなAIでミス防げないの？

◇

外国人労働者の永住に道広げる。特定技能2号の拡大を自民了承。国際基準なら「移民」。なぜ正面から認めぬ。

◇

東京都心の低空を飛び交う米軍ヘリ。航空法の縛り受けず、透明性もなし。「治外法権」。改めて辞書を引く。

◇

検討もせず機械的に廃棄とは。重大少年事件の記録。後世の歴史家に顔向けできぬ。

◇

世界で進む先住民の遺骨返還。アイヌの遺骨も次々と古里へ。多数を所蔵の東大、京大。知らんぷり続けるのか。

きょうの紙面から

弥生時代の始まりは？　4
部活じゃない高校ラグビー　6
叔母にもタリウム 逮捕状　7

特集ワイド

チャットGPTの近未来　2
沖縄 人間の尊厳消させぬ　3

毎日ビューアー
宅配購読者はデジタル紙面無料

毎日数独 SUDOKU

第4528回・初級

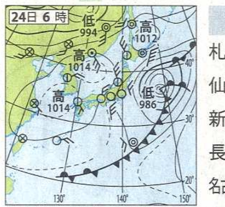
		8						4
		6		3	5	7	9	
2			9				5	
	7			6				3
		3				5		
6				8			2	
	8				2			6
	2	1	4	9		3		
5						1		

ルールと答えは2面　パズル制作／ニコリ

お天気

□>のち　□|一時・時々　☂5ミリ以上　☂5ミリ未満　最高/最低 予想気温（℃）　降水確率（％）

	こんや・あす 18 21 24 3 6 9 12 15 18（時）			26（金）			27（土）			28（日）			29（月）			30（火）		
東京	☾☾☾☁☀☀☀☀	24/14	10	☀☁	26/15	10	☀☁	26/16	20	☀☁	27/17	20	☁	27/19	40	☁☂	25/18	50
横浜	☾☁☾☾☀☀☀☁	24/15	10	☀☁	25/16	10	☀☁	26/17	20	☀☁	26/18	20	☁	27/19	40	☁☂	24/18	50
千葉	☾☾☾☁☁☁☁☁	24/14	10	☀☁	25/17	10	☀☁	26/18	20	☀☁	27/18	20	☁	27/19	40	☁☂	25/19	50
さいたま	☾☾☾☾☀☀☀☀	24/11	10	☀☁	26/13	10	☀☁	27/15	20	☀☁	27/17	20	☁	26/18	40	☁☂	25/18	50
水戸	☾☾☾☾☁☁☀☁	23/9	0	☀☁	25/10	10	☀☁	26/14	20	☀☁	26/14	20	☁	26/16	40	☁☂	24/17	50
宇都宮	☾☾☾☾☀☁☀☀	24/10	0	☀☁	26/10	10	☀☁	26/15	20	☀☁	27/16	20	☁	26/17	40	☁☂	25/17	50
前橋	☾☾☾☾☁☁☀☀	24/11	10	☀☁	26/13	10	☀☁	27/16	20	☀☁	28/17	20	☁	27/18	40	☁☂	26/18	50
甲府	☾☾☁☾☁☁☀☀	25/12	20	☀☁	27/14	20	☀☁	29/15	20	☀☁	29/17	20	☁	29/19	40	☁☂	27/19	50
静岡	☾☁☾☾☁☀☀☀	23/16	20	☀☁	24/16	20	☀☁	25/16	20	☀☁	25/17	20	☁	27/19	40	☁☂	25/20	50



○快晴　◐晴　◎曇　●雨　F風向風力　⊗雪　◒雷　⊙霧

あすも高気圧に覆われて晴れるが、やや雲が出やすく、午後は局地的なにわか雨がある。

	25（木）			26（金）			27（土）			28（日）			29（月）			30（火）		
札幌	☀	26/9	0	☀☁	24/12	10	☁	22/14	40	☁	24/15	40	☁☂	22/15	50	☁	20/13	40
仙台	☀	22/10	0	☀☁	24/12	10	☀☁	24/16	20	☁☀	24/15	30	☁	24/16	40	☁	22/17	40
新潟	☀>☁	23/11	0	☀☁	25/13	10	☀☁	25/16	20	☁☀	25/16	30	☁☂	23/17	50	☁☂	21/16	50
長野	☀☁	25/8	10	☀☁	27/12	20	☀☁	27/14	20	☀☁	28/15	20	☁☂	26/17	50	☁☂	24/16	50
名古屋	☁☀	25/15	10	☀☁	27/17	20	☀☁	27/17	20	☁☀	27/17	20	☁	28/19	40	☁☂	26/19	50
大阪	☀☁	24/15	0	☀☁	26/16	10	☀☁	28/17	20	☀☁	28/18	20	☁	28/20	40	☁☂	25/20	50
高松	☀	25/15	0	☀☁	26/16	10	☀☁	26/16	20	☀☁	27/17	10	☁	28/19	40	☁☂	25/20	50
福岡	☀	26/16	0	☀☁	28/17	10	☀☁	28/18	20	☀☁	29/19	20	☁☀	29/21	30	☁☂	26/21	50
那覇	☀☁	28/22	10	☀☁	28/22	10	☁☀	28/22	30	☁	29/23	40	☁	29/25	40	☁	28/25	40

購読お申し込み　配達お問い合わせ
0120-468-012
6～20時、日・祝日6～17時
紙面　記事へのご意見
050-5833-9040
平日10～18時、土日祝休み
4910854992436 00045

健康の土台づくりに「あもう酵素77」を。コクのある甘みと個包装タイプで続けやすい酵素だ

濃い酵素を「チュッ」
本品お試し850円で

あもう酵素77
■㈱日本自然発酵

発酵食ナビ
Hakkou Syoku Navigation
―発酵パワーを食べて補給―

「元気にイキイキと毎日を過ごしたい」人から注目される〝酵素〟。なかでも、㈱日本自然発酵（研究所：岐阜県高山市）「あもう酵素77」の人気がじわじわと広がっている。

野菜や果物など77種すべて国産

個包装タイプで、封を開けてペースト状の酵素をチュッと吸い出す。濃厚な味わいながらも、フルーティーでコクのある甘さ。予想外のおいしさに驚いていると、体がシャキッとしてきて、元気が湧いてきた気がする。これは期待できそうだ。

朝の調子が爽快　喜びの声続々と

原料は、野菜や果物、野草など計77種類。地元の飛騨産など、すべて国産だ。原料に合わせて20種類以上の菌を使い分け、何段階にも分けて発酵させる「多段階重合発酵法」を活用。この独自製法により育んだ発酵エキスを5580㍉㌘（1袋あたり）配合し、低温でじっくり熟成させれば、今までにない濃密な酵素の完成。もちろん、保存料・合成着色料は不使用だ。

「この濃さを感じてほしい」と、同社は初めての人に1カ月分を特別価格850円で提供する。全国の愛用者からは「朝の調子が爽快」「61歳の私と88歳の母で、夕食後に食べるのが日課になっています」など、喜びの声が多数寄せられている。

地元の飛騨産を中心に、77種の素材はすべて国産

問い合わせ　あもう酵素77
1袋（3.6㌘×31包入：約1カ月分）通常価格5,940円のところ初回購入者に限り約85％割引の特別価格850円（税込）、送料無料で。本日より1カ月限定。初回注文1世帯1袋限り。申込番号.「あ027」
■株式会社日本自然発酵
〒451-0046
愛知県名古屋市西区牛島町4－8
☎0120-85-85-82
（平日：9時～21時、土・日・祝：9時～17時）
お得な定期コースあり。詳しくは問合せください。商品は申込受付後、7日程度でお届け。支払いは同梱の振込用紙にて商品到着後10日以内にコンビニ（手数料無料）または郵便局（現金払いは手数料110円（税込））。返品は商品到着後8日以内（購入者都合による返品・交換は送料自己負担。万が一商品に破損や不備があった場合は送料同社負担にて交換）。商品開封後の返品不可。
広告
＊個人情報は、商品発送、代金決済、商品やサービスの案内、アンケート調査の依頼に利用。詳しくは、ホームページ「個人情報保護方針」をご確認下さい。